

## TALON Tips

<連続する同じ値のレコードを行結合して表示する>

<データを横に展開して日別の推移を表示する>

株式会社 HOIPOI

第1. 2版

# 1 目次

---

1	目次.....	2
2	はじめに.....	3
3	Tips セットアップ.....	4
3.1	事前準備.....	4
3.2	事前準備 2.....	4
3.3	セットアップ.....	4
3.4	セットアップ (その他).....	5
4	Tips 概要.....	6
4.1	概要.....	6
4.2	処理フロー.....	6
4.2.1	処理フロー.....	6
4.2.2	処理内容.....	7
4.3	構築のポイント.....	7
4.4	サンプル機能.....	8
4.5	構築方法.....	9
4.5.1	TALON 機能の構築.....	9
4.6	利用 TALON 機能.....	12
5	改版履歴.....	13

## 2 はじめに

---

本資料はTALON機能を使用した活用例を掲載しております。

「**Tips 共通資料**」と合わせてご確認ください。

また、使用している機能の詳細につきましては「**310\_TALON\_機能構築マニュアル**」、基本的に機能の構築方法につきましては「**300\_TALON\_機能構築チュートリアル**」を合わせてご確認くださいますようお願いいたします。

### 補足

---

TALON Tips のセットアップは、事前に以下の準備が完了している必要があります。

- TALON 本体がセットアップ済みであること  
※対応するバージョンについては当ドキュメントの改版履歴に記載しています。
  - TALON 標準ファンクションがセットアップ済みであること
  - TALON リポジトリ移送機能がセットアップ済みであること
- 

### <注意事項>

-  TALON バージョンにより画面イメージが異なる場合があります。

## 3 Tips セットアップ

---

当 Tips を利用する為に必要なセットアップ手順を記載いたします。

### 3.1 事前準備

---

「Tips 共通資料」の「4 セットアップ手順」>「4.1 事前準備」を参照してください。

### 3.2 事前準備 2

---

「Tips 共通資料」の「4 セットアップ手順」>「4.2 事前準備 2」を参照してください。

### 3.3 セットアップ

---

下記セットアップを実施してください。

No.	実施有無		
1	×	スクリプトパッチの適用	
2	○	機能のインストール	Tips 番号 : <b>0030</b> (リポジトリデータ : <b>TLN_TIPS_0030</b> )
3	○	機能のセットアップ	Tips 番号 : <b>0030</b>
4	○	機能利用権限の付与	Tips 番号 : <b>0030</b>
5	×	DocRoot ファイルの 配備	
6	×	その他	

### 3.4 セットアップ（その他）

---

当 Tips は「その他」の作業はありません。

# 4 Tips 概要

## 4.1 概要

- ・明細画面で同じ値のデータを行結合して画面を表示します。
- ・日付毎に管理しているレコードデータを横に展開して、区分毎の日別の推移を照会する画面を作成します。

## 4.2 処理フロー

### 4.2.1 処理フロー

縦に保持しているデータを横に展開します

同じ値の場合、罫線を表示しません。

KEY	品目	区分	日付	生産数
00001	AAAAA	生産 (着手)	7 / 9	1
00002	AAAAA	生産 (着手)	7 / 9	1
00003	AAAAA	生産 (完成)	7 / 13	2
00004	AAAAA	生産 (着手)	7 / 15	1
00005	AAAAA	生産 (着手)	7 / 15	5

## 4.2.2 処理内容

---

- ① 明細で、指定した項目の値が連続して同じ値だった場合、その値は表示せず、その上の罫線なしで画面に表示します。
- ② 日付毎のレコードデータを横展開し画面に表示します。
- ③ 日付データの項目について、タイトルを対象の日付に変更します。

## 4.3 構築のポイント

---

- ① 連続した同じ値の場合に、罫線の制御（行の結合）を実施する為、画面のソート順を「品目コード」で設定します。
- ② 罫線の制御（行の結合）は「クライアントサイド JavaScript」で実施します。画面にレスポンスされた値を参照し、テーブルセルのスタイルを変更します。
- ③ 縦のデータを横に展開するには、SELECT 文を使用し区分別のサマリ値を日付毎に項目として出力します。（下記参照）

#### 4.4 サンプル機能

---

➤ TALON、TALON 関連機能

機能名	種別	機能 ID
TIPS0030_日別生産計画状況表	TALON	TLN_TIPS_0030_PROC_CHART

➤ データベース関連

オブジェクト名	種別	オブジェクト ID
TIPS0030_品目テーブル	TABLE	TLN_TIPS_0029_DELI
TIPS0030_計画テーブル	TABLE	TLN_TIPS_0030_M_PLAN

## 4.5 構築方法

---

### 4.5.1 TALON 機能の構築

---

#### ① 明細タイプ機能の構築

※ 機能構築チュートリアル「[一覧照会機能の構築](#)」を参照してください。

<横に展開する SELECT 文について>

データのイメージ

KEY	品目	区分	日付	生産数
00001	AAAAA	生産 (着手)	7 / 9	1
00002	AAAAA	生産 (着手)	7 / 9	1
00003	AAAAA	生産 (完成)	7 / 1 3	2
00004	AAAAA	生産 (着手)	7 / 1 5	1
00005	AAAAA	生産 (着手)	7 / 1 5	5

まずは単純に「品目」「区分」「日付」でサマリします。

```
SELECT
  品目,
  区分,
  日付,
  SUM(生産数)
FROM テーブル
GROUP BY
  品目,
  区分,
  日付
```

品目	区分	日付	生産数
AAAAA	生産 (着手)	7 / 9	2
AAAAA	生産 (完成)	7 / 1 3	2
AAAAA	生産 (着手)	7 / 1 5	6

CASE 文を使用し、生産数を日付に分けて出力します。

```

SELECT
  品目,
  区分,
  日付,
  CASE WHEN 日付 = '7/9' THEN SUM(生産数) , 0 END AS 0709の数量,
  CASE WHEN 日付 = '7/13' THEN SUM(生産数) , 0 END AS 0713の数量,
  CASE WHEN 日付 = '7/15' THEN SUM(生産数) , 0 END AS 0715の数量,
FROM テーブル
GROUP BY
  品目,
  区分,
  日付

```

品目	区分	日付	0709の数量	0713の数量	0715の数量
AAAAA	生産 (着手)	7 / 9	2	0	0
AAAAA	生産 (完成)	7 / 1 3	0	2	0
AAAAA	生産 (着手)	7 / 1 5	0	0	6

「品目」「区分」で集計します。

```

SELECT
  品目,
  区分,
  CASE WHEN 日付 = '7/9' THEN SUM(生産数) , 0 END AS 0709の数量,
  CASE WHEN 日付 = '7/13' THEN SUM(生産数) , 0 END AS 0713の数量,
  CASE WHEN 日付 = '7/15' THEN SUM(生産数) , 0 END AS 0715の数量,
FROM テーブル
GROUP BY
  品目,
  区分

```

品目	区分	0709の数量	0713の数量	0715の数量
AAAAA	生産 (着手)	2	0	6
AAAAA	生産 (完成)	0	2	0

**Point** 出力する期間について

検索条件に基準となる日付を設定し、SELECT 文では「その日付の + N 日」の日付のデータを取得するといった形で CASE 文を構成していきます。

(日付の計算については、TALON 標準ファンクション「**TLN\_CHAR\_TO\_DATE**」を使用可能です。)

予め出力する期間 (日数) を決めておき、その分のフィールドを取得する SELECT 文を作成する必要があります。

- ② タイトル SELECT 式を使用して、画面に表示される日付項目のタイトルを、対象の日付に変更する。

※ 機能構築マニュアル「[明細のタイトル \(見出し\) を動的に表現する方法](#)」を参照してください。

**Point** タイトル SELECT 式の SELECT について

当 Tips では、Oracle、SQLServer、MySQL でも動作するように、汎用マスタテーブル

(TLN\_M\_HANYO\_CODE\_MAIN) にダミーの 1 件データを登録し、そのレコードを抽出する事で 1 件データを取得しています。

例えば、Oracle 固定での環境の場合、「dual」テーブルを使用するなどでの実行も可能です。

- ③ クライアントサイド JavaScript により、明細部の連続する同じ値の場合、罫線の制御 (行の結合) を行います。

※ 機能構築マニュアル「[JavaScript 埋め込み](#)」を参照してください。

**Point** Tips サンプルのクライアントサイド JavaScript について

当 Tips のクライアントサイド JavaScript は、対象の項目 ID を変更する事で、他の画面でも使用する事が可能です。

当スクリプトを対象の機能に記述し

25 行目、26 行目にて設定されている「品目コード」「品目名」の項目 ID を対象のものに変更してください。

- 4.4.3 明細のタイトル（見出し）を動的に表現する方法
- 6.12 JavaScript 埋め込み

## 5 改版履歴

---

日付	版数	内容
2017/07/01	第 1.0 版	初版
2018/07/10	第 1.1 版	TALON Ver4.1.5 に対応しました。 PostgreSQL に対応しました。
2019/06/01	第 1.2 版	TALON Ver5 に対応しました。